

脚本・監督:オダギリ ジョー

柄本 明

川島鈴遥 村上虹郎

伊原剛志 浅野忠信 村上 淳 蒼井 優

笹野高史 草笛光子 / 細野晴臣 永瀬正敏 橋爪 功

撮影監督:クリストファー・ドイル 衣装デザイン:ワダエミ 音楽:ティグラン・ハマシアン



"They say, 'Nothing stays the same'."

ある船の話



製作総指揮:木下直哉 プロデューサー:市山尚三、永井祐郎、中島裕作 制作プロダクション:RIKIプロジェクト

照明:宗 賢次郎 音響:白取 賢 美術:佐々木 尚 ヘアメイクデザイン:勇見勝彦 装飾:石上 諒一

ヘアメイク:伊藤こす恵 衣装:飯塚直子、秋場大典、福島マチ子、松田和夫 編集:岡崎正弥、オダギリ ジョー

VFXスーパーバイザー:進 威志 サウンドエフェクト:北田雅也 特撮:実原康之 助監督:松本 環 制作担当:瑞宮隆浩

特別協力:麒麟山酒造、新潟県フィルムコミッション協議会(JFC)、田部鉄工 エンジニアリング、ハナトニブシイ

配給:キノフィルムズ / 木下グループ 配給 ©2019「ある船頭の話」製作委員会

助成:文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

オリジナルサウンドトラック:「They Say Nothing Stays the Same」ティグラン・ハマシアン(SEE BEDON Records)

www.aru-sendou.jp





本年度 ヴェネチア国際映画祭正式出品 ヴェニス・デイズ(コンペティション)

「本当に人間らしい生き方とは何か」を世界に問う問題作

明治と大正のはざま。文明の波がひたひたと押し寄せ、時代の移り変わりに直面した山あいの村を舞台に、「本当に人間らしい生き方とは何か」を世に問う問題作が完成した。オダギリジョーがオリジナル脚本を書き下ろし、監督を務めた『ある船頭の話』だ。時代に取り残される主人公の船頭・トイチを演じるのは、日本映画を支えてきた名優、柄本明。謎めいたヒロイン役には、新鋭の川島鈴遥が抜擢された。トイチを慕い、何かと声をかけて共に過ごす村人・源三役には若手実力派、村上虹郎。また、名前を聞いただけで胸が高鳴る豪華キャストたちが、意外な役どころで出演している。

さらに、海外でも精力的に活動してきたオダギリのも

とに、国際派スタッフが集結。撮影監督には、独特な色彩を映像に落とし込む名匠クリストファー・ドイル。衣装デザインには、『乱』で米アカデミー賞®を受賞した日本の至宝、ワダエミ。そして若くして天才と謳われたアルメニアのジャズ・ピアニスト、ティグラン・ハマシアンが映画音楽に初挑戦。

本作は、第76回ヴェネチア国際映画祭のヴェニス・デイズ(コンペティション)部門への正式出品が決定。革新性や探求心、インディペンデント精神といった作家性を重視する部門で、長編日本映画としては史上初の選出となった。

映画を観ることが、人生の根源を見つめることになる——そんな稀有なる体験をあなたに。



橋の建設と突然現れた少女が、静謐だった船頭の日々を変えていく——

緑豊かな山奥に流れる、とある川。船頭のトイチは、川辺の質素な小屋に一人で住み、村と町を繋ぐための渡しを生業としていた。様々な事情を抱える人たちを乗せ、今日も黙々と舟を漕ぐトイチ。こんな田舎にも、近代産業化が忍び寄り、川上では煉瓦造りの大きな橋が建設中だ。完成を心待ちにする村人の中で、トイチの想いは複雑だった。そんな折、トイチは、一人の傷ついた少女の面倒を見ることになるが、それと時を同じくして、舟の客から奇妙な惨殺事件の噂を耳にする一。



www.aru-sendou.jp



9月13日(金) 全国公開

ムビチケカード 好評発売中! ¥1,400(当日一般¥1,800の処) ※販売は一部劇場を除く